

第1学年 国語科学習指導案

日時 平成29年9月26日(火) 5校時
学級 2年C組 男子17名 女子10名
計27名
場所 2年C組教室
授業者 教諭 曾我 円佳

1. 単元名 君は「最後の晚餐」を知っているか
2. 単元について

本単元は中学校学習指導要領の「読むこと」の指導事項「イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。」と指導事項「ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること」を指導する。

「君は『最後の晚餐』を知っているか」は、生徒が初めて学習する評論の文章である。評論の文章は、「物事の善し悪しや価値などについて書き手の考えを述べた文章である」(学習指導要領解説)とある。本教材は大きく、序論・本論・結論から構成されており、筆者の個性的な視点や価値観が述べられている。具体的には、「解剖学」「遠近法」「明暗法」という三つの具体的な事例を提示して根拠を示し、題名にインパクトを持たせ、絵画「最後の晚餐」の価値を「かっこいい」という言葉で表している。また、「まるで～」のような喩えの表現、「～(な)のだ」という断定的な文末表現、体言止めなどで読み手をひきつけている。

以上のことから評論文を書くために筆者の論の展開の仕方や表現の仕方をとらえ、それについて自分の考えを持ち、グループ内で交流し、自分用の評論文マニュアルを完成させるという言語活動を設定する。三つの事例を述べる順序や表現の仕方などについて着目し、評論文を書くために必要な枠組みについて本文を拠り所にして考えることで、根拠を明確にして自分の考えをまとめる力につながる。また、生徒同士での交流を通して、より自分の考えや筆者の説明の仕方が整理されると考える。

3. 生徒の実態

昨年度からこの学年の国語を担当しており、授業態度は真面目で、自分の考えや思いを表現することは好きな生徒が多い学級である。しかし、自分の考えが適切であるか不安だったり間違えることをおそれてしまったりしてしまい、全体の前で発言することに抵抗を示す生徒が多い。声かけをして徐々に発言できるようになってきてはいるが、いつも発言する生徒が固定化されてしまうのが現状である。グループ学習でも挙手をする生徒が中心になって話し合いが進んでしまう傾向がある。

1年時に実施したCRT検査の結果によると「説明的な文章を読むこと」については全国平均とほぼ同じである。また、「生物が記録する科学ーバイオリギングの可能性ー」の学習を通して筆者の主張を文章の構成や展開に着目して読むことはできるようになってきているが、まだ十分ではなく、構成や展開の工夫の良さについて自分の考えを持つことは不十分である。そこで本単元では、筆者の思いや考えを分かりやすく述べるために、論の展開や表現の仕方を中心にとどのような工夫をしているかをつかむ学習を通して、

構成や展開の良さについて自分の考えを持つ力を育てていきたいと考える。

4. 単元の目標

- (1) 評論文に関心を持ち、内容や表現の仕方について考え、自分のものの見方や考え方を広げたり、評論文を書いたりしようとする。
- (2) ・各段落が文章全体の中で果たしている役割を捉えたり、説明の仕方に注意したりして読んで、内容の理解に役立てることができる。
 ・評論の文章を読んで、論の展開や表現の仕方について具体的に捉え、自分の考えを持つことができる。
- (3) 評論の文章を読む際に、重要な役割を果たしている抽象的な概念を表している語句に着目し、その語句が表す具体的な中身を考えることができる。

5. 単元の評価規準

ア、国語への関心・意欲・態度	イ、話す聞く能力	ウ、書く能力	エ、読む能力	オ、言語についての知識・理解・技能
① 評論文に関心を持ち、内容や表現の仕方について考え、自分のものの見方や考え方を広げたり、評論文を書いたりしようとしている。			① 各段落が文章全体の中で果たしている役割を捉えたり、説明の仕方に注意したりして読んで、内容の理解に役立てている。(イ) ② 評論の文章を読んで、論の展開や表現の仕方について具体的に捉え、自分の考えを持っている。(ウ)	① 評論の文章を読む際に、重要な役割を果たしている抽象的な概念を表している語句に着目し、その語句が表す具体的な中身を考えている。(イ(イ))

6. 単元の指導計画（7時間扱い）

	学 習 活 動	評価規準
第1時	・ 本文を通読し、初発の感想を書く。 ・ 新出漢字を確認し、分からない語句の意味調べをする。	ア① オ①
第2時	・ 文章全体の構成をつかみ、各段落の役割を考える。	エ①
第3・4時	・ 自分が書く評論文の題材を考える。 ・ 筆者の論の展開や表現の仕方などを見つけ、それについて自分の考えを持ち、マニュアルを作成する。	ア① エ②
第5時 (本時)	・ 筆者の論の展開や表現の仕方などの工夫点について交流し、自分用の評論文マニュアルを完成させる。	ア① エ②
第6時	・ 論の展開や表現の仕方を参考に各自で「君は『○○○』を知っているか」を書く。	ア① エ②

第7時	・「君は『〇〇〇』を知っているか」をお互いに読み合い、交流し合う。 ・単元の学習内容について振り返る。	ア① エ②
-----	--	----------

7. 本時の指導

(1) 本時の目標

文章の構成や表現の仕方についてとらえ、自分の考えを持ち、交流を通して自分用の評論文マニュアルを完成することができる。

(2) 本研究とのかかわり

本時は本校研究における言語活動の柱3「生徒同士（ペア、グループワークなどの活動）で、自分自身の考えを持ってかかわりあい、交流しながら表現する活動」を中心に取り入れて指導する。

「読むこと」のイトウを効果的に指導するために筆者の論の展開や表現の仕方をとらえ、評論文マニュアルを作成する。その目的を果たすために、個々で考え、グループで話し合うことで生徒相互の思考が深まり、より充実した言語活動が展開されると考える。

(3) 本時の評価規準

評価の観点	評価規準	評価の方法
ア、国語への関心・意欲・態度	評論の文章を読んで内容や表現の仕方について考え、自分のものの見方や考え方を広げようとしている。	活動の観察 ワークシートの記入
イ、話す・聞く能力		
ウ、書く能力		
エ、読む能力	評論の文章を読んで、文章の構成や表現の仕方について具体的に捉え、自分の考えを持っている。	活動の観察 ワークシートの記入
オ、言語についての知識・理解・技能		

(4) 本時の展開

	学習活動	○指導上の留意点 ●評価
導入 5分	1. 前時の授業の振り返り 筆者の評論文における論の展開や表現の仕方についての確認 2. 本時の学習課題の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 自分用の評論文マニュアルを完成させよう </div>	
展開 40分	3. グループで交流 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の論の展開や表現の仕方について各自考えたことを発表し、交流する。自分以外の考えでマニュアルに取り入れたい内容については赤ペンでプリントに書き加える。 ①論の展開（特に三つの根拠の順番） ②表現の仕方 ③その他 </div> 4. 全体発表 ・生徒数人を指名し、発表させる。 5. 再構成する ・他者の意見を聞き、マニュアルを再構成する。	●評論の文章を読んで内容や表現の仕方について考え、自分のものの見方や考え方を広げようとしている。（国語への関心・意欲・態度） ●評論の文章を読んで、文章の構成や表現の仕方について具体的に捉え、自分の考えを持っている。（読む能力） ○前時の表現の仕方に着目し、どのような効果があるか考えさせる。
終末 5分	6. 活動の振り返り 振り返りシートを記入し、わかったこと、わからなかったことを自分の言葉で書く。 7. 次時の予告と家庭学習について 授業と関連した学習内容の指示	○振り返りシートを記入し、わかったこと、わからなかったことを整理させる。